

# オープン以来の稼働率 15,8%

## 須磨一ノ谷プラザで、部会の集まり、同好会の開催を

副理事長 上田 市夫 (生環 40期)

グループ わ が新たに取り組むこととなった「須磨一ノ谷プラザ」の管理運営業務は、4月17日のオープン以

来には広報活動が重要ですが、昨年5月末の「旧神戸市勤労会館海の家」の廃止



一ノ谷プラザのオープンを待ちかねて踊りの稽古に励むご婦人たち

の際に従来の帳簿類はすべて廃棄されており、グループ わ としては顧客リストもない全く白紙からのスタートでした。かつての顧客にリニューアルオープンのご挨拶も出来ず、直接売り込みにも行けないというのは、もどかしい限りです。

このことについては、須磨区役所を通じて利用案内やチラシを北須磨支所・長田・垂水区役所等の公的ガイドコーナーに配置してもらうよう働きかけておりますので、今後この効果も期待したいものです。

会員の皆様方も部会の集り、同好会やグループの勉強会、打ち合わせ会などに是非ご利用ください。風光明媚な須磨浦公園の一角にあって、素晴らしいロケーションです。食べ物は出前の利用となりますが、飲みものは自動販売機を利用いただけます。わ会員の皆さまには、須磨一ノ谷プラザの広報宣伝活動についてお力添えをお願い致します。

来2ヶ月半が経過しました。申し出のあった40名のスタッフの方々の当番制で運営にあたっていただいておりますが、肝心の利用者は今のところ低調に推移しており、貸し室料金で経費のすべてを賄うグループ わ の初めての「貸室事業」は、苦しいスタートになりました。

このため当番執務者の方々には、利用の予約状況によって執務の変更をお願いするなど多大のご迷惑をおかけしております。貸室の利用が増えることが事態打開の何よりの特效薬になりますが、施設の老朽化に加えて、立地条件が市街地から離れている不利など健全経営に至るには課題山積です。

貸室の稼働率は4月は7.6%、5月は14.8%、6月は21.1%と漸増はしておりますが、この上昇傾向が続くことを期待するばかりです。

期間中の平均稼働率は15.9%、利用内容別では麻雀20.6%、民謡18.3%、会議14.7%、器楽13.8%、三味線8.7%、謡曲8.3%、その他15.6%となっております。利用者は近隣の方々が多く、地域の交流の場になっていることが伺えます。

## グループ紹介 わらべ

福祉9 文 祇園明敏

『わらべ』は、福祉文化9期生が中心のメンバーです。3年生の時、グループ学習で「子育て支援」をテーマにして紙芝居を取り組み、その練習の成果をグループ発表会で「稲むらの火」を演じました。

そして卒業後、ボランティアグループ『わらべ』として、引き続き活動に取り組み今日に至っています。活動は、児童館、幼稚園、小・中学校、老人施設などを訪問し、紙芝居、昔の子供遊びを披露する。時には増金スミ子さん(福祉11期)の応援を得て“南京たますだれ”を演じて好評を博しています。2005年1月、神戸市で世界国連防災会議が開催されました。その



老人施設の慰問に訪れた『わらべ』の会員たち

際前段のパフォーマンスとして、人と未来防災センターで紙芝居「稲むらの火」を6日間連続で上演し、マスコミで大きく取り上げられました。

一方、2005年7月インド洋沖巨大地震で被害を受けたスリランカへ行き、津波被害の大きかった南部地域の小・中・高校を訪問し紙芝居「稲むらの火」を演じて大変な歓迎を受けました。

最近では6月12日(火)私立丸山中学校の西野分校(夜間)を訪問、一時間目の授業で紙芝居と大正琴の演奏で充実した授業を実施しました。なお大正琴は前田仁子さん(福祉11期)岩井明子さん(福祉11期)井谷豊子さん(食文11期)の3人が出演してくださいました。